

## BD LSRフローサイトメーターの標準的操作方法と メンテナンス手順に関するヒントおよび推奨事項

---

次に示す一連の推奨事項は、BD LSRフローサイトメーターの標準的操作方法とメンテナンスを行う際に役に立つものです。これらはあくまでもヒントと推奨事項であり、具体的な説明およびガイドラインについては、『BD LSRユーザーズガイド』を参照してください。

---

### BD LSRの毎日の起動手順

1. シースタンクにシース液を補充し、次のことを確認します。
    - ・タンク上部のラインまでシース液が補充されている(約6L)。
    - ・シースタンクの蓋にずれがないこと。
    - ・チューブにねじれがないこと。
  2. 廃液タンクを空にして、次のことを確認します。
    - ・タンクに400mLのFACSCleanが入っていること。
    - ・チューブにねじれがないこと。
  3. 電源供給用のトランス2台の電源を入れます。
  4. サイトメーター本体の電源を入れます。
  5. 周辺機器の電源を入れ、最後のFACSationの電源を入れます。
  6. シースフィルターの気泡を追い出します。
  7. サイトメーターをウォームアップします。
    - ・アルゴンレーザー5分
    - ・UVレーザー60分
    - ・ヘリウムネオンレーザー20分
- 

### BD LSRの毎日の停止手順

1. FACSClean 3mLが入った12×75mm試験管をサンプルインジェクションポート(SIP)に取り付けます。
2. 流路調節ボタンをHIにし、RUNボタンを押します。
3. サポートアームを横位置にし、1分間洗浄します。
4. サポートアームを中央位置にし、5分間洗浄します。
5. FACSRinse 3mLが入った試験管をSIPに取り付けます。
6. 3から4の手順を繰り返します。
7. サイトメーターをSTNDBYモードに設定します。
8. FACSRinse 1mLが入った試験管をSIPに取り付けます。
9. FACSationを終了して、電源を切ります。
10. サイトメーター、トランスの電源を切ります。

---

## BD LSRの毎月のメンテナンス手順

1. シースフィルターを取り外し、シースラインをタンクに直接接続します。
2. シースタンクの溶液をFACSCleanに入換えます(約1L)。
3. FACSClean 3mLが入った試験管をSIPに接続します。
4. 流路調節ボタンをHIにし、RUNボタンを押します。
5. 全流路をFACSCleanにて、30分間ラインを洗浄します。
6. シースタンクの溶液をFACSRinseにかえて、同様に2から5の操作を行います。
7. 洗浄終了後、FACSFlowに戻し、流路をFACSFlowに置き換えます。
8. 取り外したシースフィルターをもとに戻します。